

hinge notes (ヒンジノート)

コンセプト ”折背貼り”、”蛇腹折り”、”フラッグブック”を応用したノート。

ページ数（紙厚）の影響を受けずに、どのページもフラットに開けられるノート。

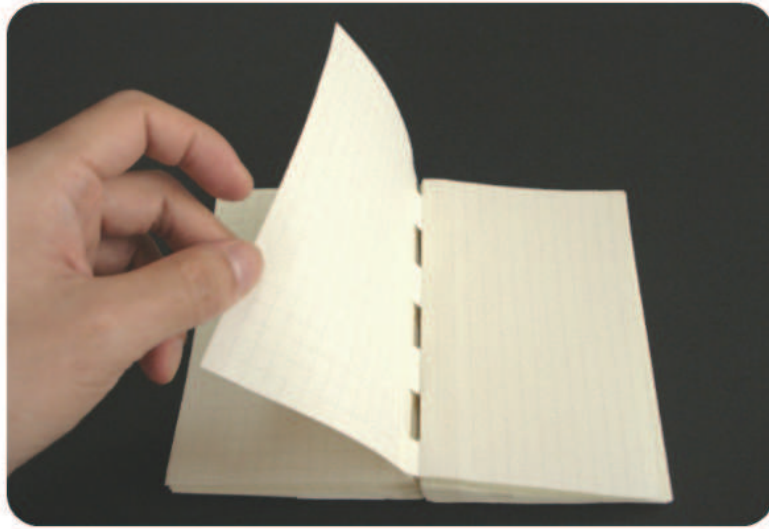
- 長所
- ・中綴じ、平綴じ、リング綴じに使われる針金が必要ない。
 - ・あじろ綴じの場合、紙厚になると”のど”まで開く事が困難だが、それが無い。
 - ・糸綴じと異なり、ページ間にメモや資料などを挟む事で膨れても、他のページへの影響が少ない。

- 短所
- ・ページの連結部分に”のりしろ”が必要で、綴じ代が生まれる。
 - ・連結部分ごとページを破くと、そのページを境に分かれてしまう。対策：切り取り線（ミシン目）を入れる。
 - ・蝶番状に貼り合わせているので、背の部分の厚みが小口部分の1.5倍に膨らんでしまう。

- 用途
- ・手帳 <物を挟んで厚くなっても、ページが開きやすい>
 - ・学習用ノート <フラットに開けられるのでコピーが容易>
 - ・その他：厚みを抑える必要がある本（辞書など）には不向きだが、開きやすい教材本として活用。

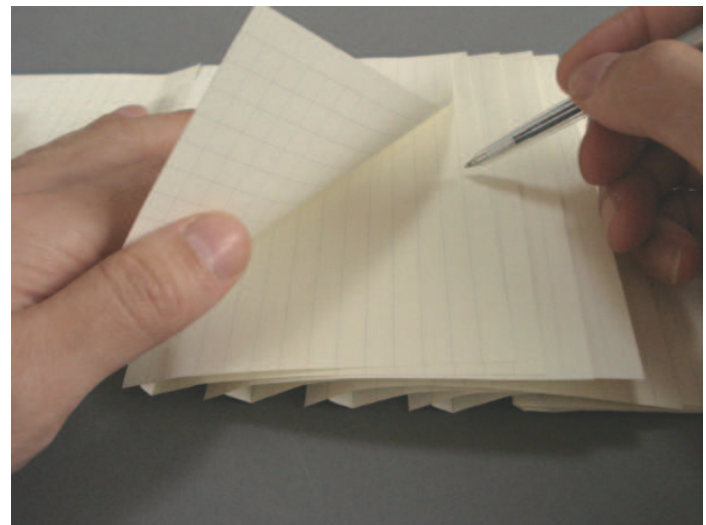
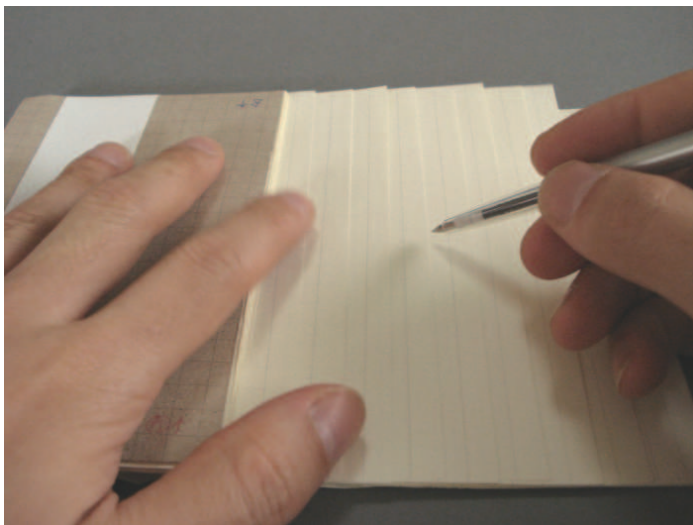


・ページを蝶番状に貼り付け、のり代の一部を貼り付けずに残すことで、2つの効果が得られます。

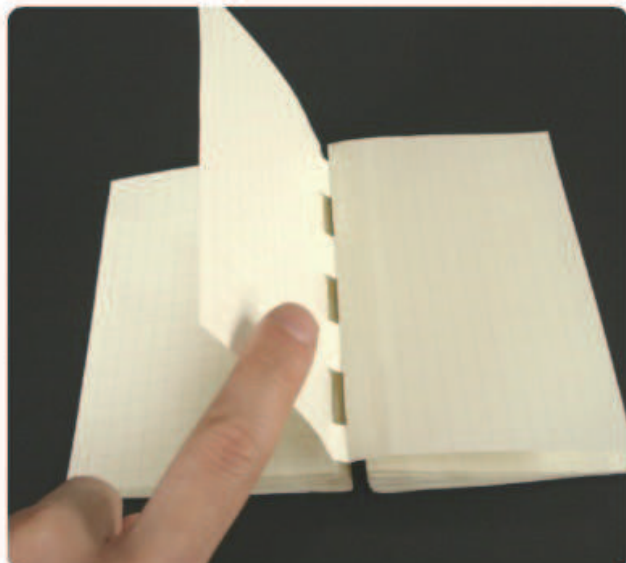


・ずらして開くことで、余白をタブとして利用できます。

・記入内容を確認しながら書き込む事ができます。



・ページをめくる際、押しながら外方向に引くと次のページが浮き上がり、めくり易くなります。



1

2